

合掌造り茅葺きの歴史を伝える
2010年、南砺市菅沼



茅場新設

南砺・菅沼顕彰会 3年かけ1千平方メートル



菅沼顕彰会が新たに造成する茅場。奥に見えるのが南砺市菅沼

合掌造りを保全継承

世界文化遺産に登録されている南砺市の菅沼合掌造り茅葺きの保存継承に向け、地元住民からなる団体「菅中五郎山菅沼合掌造り保存会」は今年度から、合掌造りの屋根の葺き替えに欠かせないカヤを育てる茅場の造成に取り組み、茅場は国道156号沿いの集落に近い場所に設け、体験や見学の際にも活用したい考えで、県民層や管外のワークショップなどを通して、県内外からの協力を積極的に要する。

体験、見学にも活用

新たな造成する茅場で、観光客の利用方を想定する南砺にある、奥に面積約1千平方メートルの菅沼合掌造り茅場が、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。

菅沼合掌造り茅場は、1万束のカヤが必要とされ、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。菅沼合掌造り茅場は、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。菅沼合掌造り茅場は、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。

菅沼合掌造り茅場は、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。菅沼合掌造り茅場は、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。

菅沼合掌造り茅場は、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。菅沼合掌造り茅場は、今年度から3年かけて造成に取り組み、その割合は年々減りつつある。